

2

医師が求める ニューロナースのキャリアアップとは

加藤庸子¹⁾, 林 拓郎²⁾

1) 藤田保健衛生大学病院 総合救命救急センター センター長, 藤田保健衛生大学医学部 脳神経外科 教授, 本誌編集委員

2) 藤田保健衛生大学医学部 脳神経外科 講師

Point

- 1 ニューロナースにとって、脳の特異性を理解することは重要である。
- 2 脳には、その機能を維持するために特殊な代謝と循環機構が備わっている。
- 3 遺伝子、再生医療など、神経科学の新しい挑戦について知ろう。

脳の特異性を理解することの重要性

従来は、医師の指示を看護師が受ける体制がとられてきましたが、脳神経外科看護の内容も多岐にわたり、幅広くなった看護を習得し、確立された看護体制のもとに、看護師が治療に参加する時代が到来しました。

基本的には、脳の解剖（図1）・生理（図2）を十分に習得したうえで脳神経外科の各領域を

学び、脳の特異性をよく理解し、応用する必要があります。たとえば、脳の重量は体重の2%である1300～1400gであり、脳の酸素消費が全身の20～25%（小児では50%）と比較的高いことや、脳循環に必要な血液量は総心拍出量の15%であること、また脳は再生能も増殖能もないこと、ひとたび損傷が確認されれば回復する機会のないこ

と、自動調節能（autoregulation）の存在、血液脳関門（blood brain barrier：BBB）の役割、そして脳全体として半閉鎖腔など、基礎的な知識を持ったうえで細分化した内容を理解することの重要性を強調したいと思います。

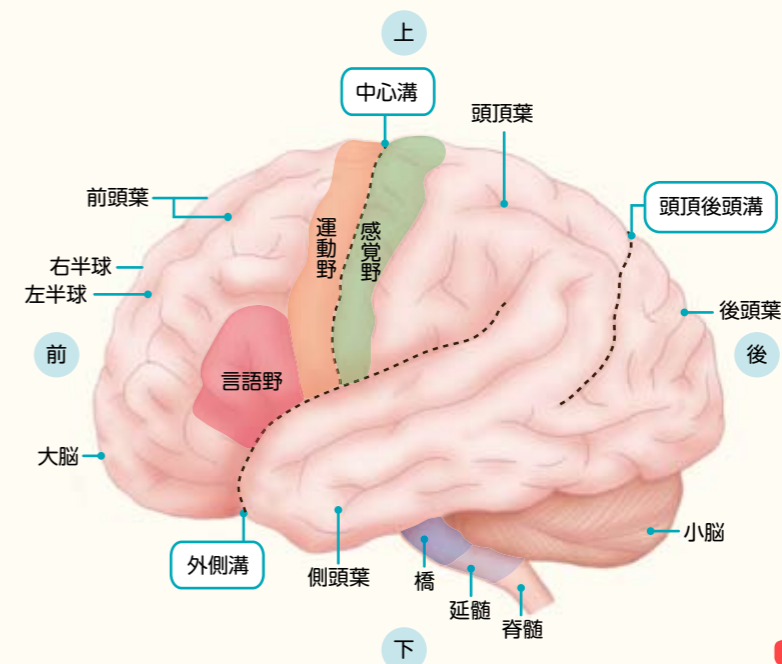


図1 大脳半球の構造

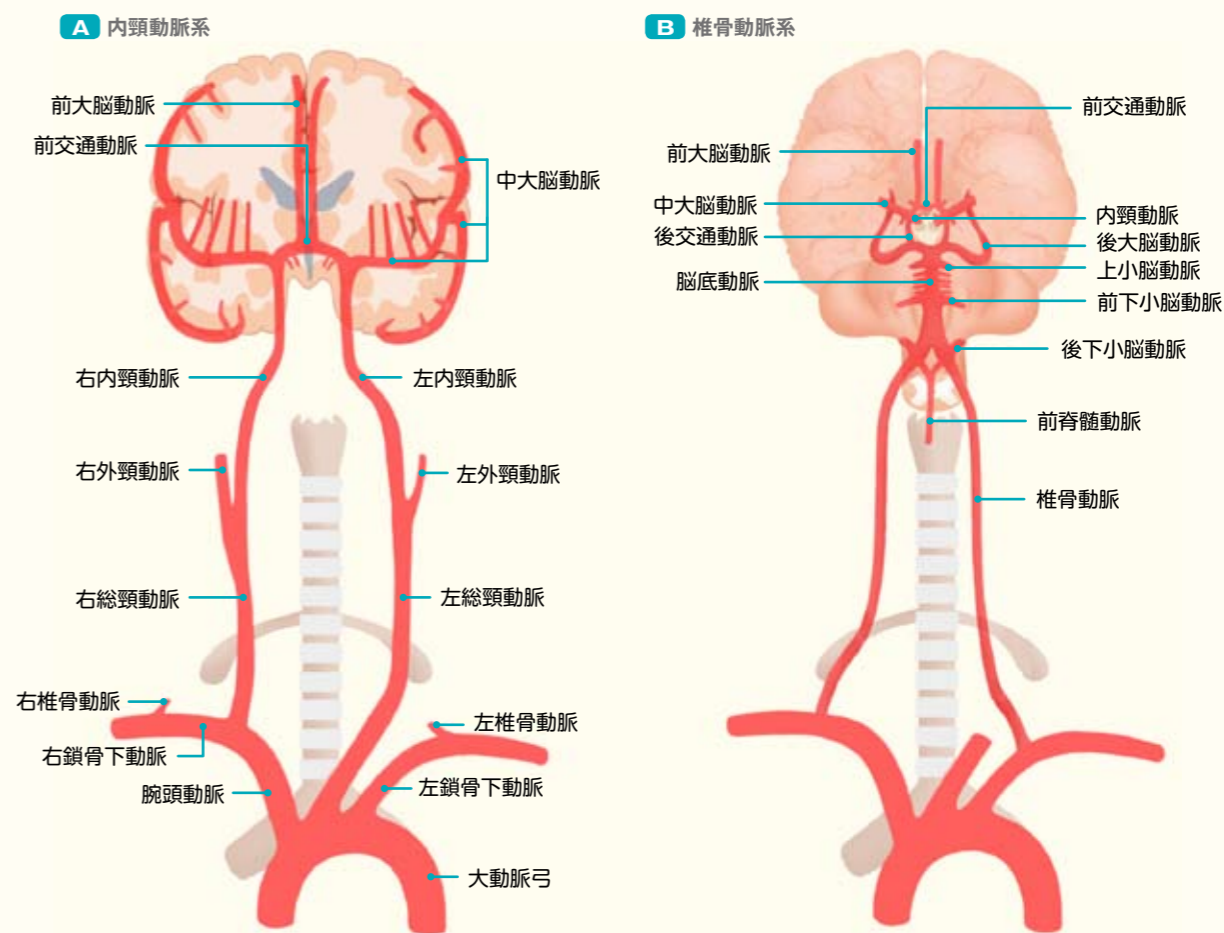


図2 脳の血液供給